

かわなみ 忠一



“わかりやすい!”をモットーに
神戸市政に関わるトピックをお伝えします!

かわなみから 質疑と要望

令和3年2月18日(木) 市会本会議で

ワクチン接種に向けて、神戸市が担う役割は、予約システム等の構築や接種券の印刷郵送、相談体制の構築など、必要な業務は多岐にわたります。4月から本格的に始まるワクチン接種に向けた迅速な取り組みについて質疑しました。

かわなみ 質問

ワクチンどこで接種できるの? 管理体制はどうなってるの? これからの課題は?

神戸市の 《新型コロナウイルス感染拡大防止対策》 ワクチン接種体制について

久元市長、恩田副市長からの回答をもとに、わかりやすく報告します!



かわなみ MEMO

神戸市のワクチン接種体制づくりと今後のスケジュール(見込み)

- ◎1月17日 ワクチン接種対策室を設置
- ◎2月5日 接種連携本部を設置
(神戸市、神戸市医師会、神戸市民間病院協会、薬剤師会の4者合同)
- ◎3月1日 ワクチン接種に関する相談のためのコールセンターを設置予定
- ◎3月上旬に集団接種の事前シミュレーションを実施
- ◎4月から高齢者への優先接種を開始、3ヶ月程度での終了を目指す。
次に基礎疾患のある方、その他一般の方々への接種を迅速に実施。
- ◎各区役所に市内ワクチン拠点を設置予定

	3月	4月	5月	6月
高齢者への優先接種 ・市内病院 ・診療所 ・集団接種会場	★ 集団接種の事前シミュレーション	接種 病院・診療所 または集団接種会場(各区1か所程度)		
		接種券郵送		
		予約受付		
一般市民向け	コールセンター 3/1(月)開設予定 TEL. 078-277-3320			

事前シミュレーションについて

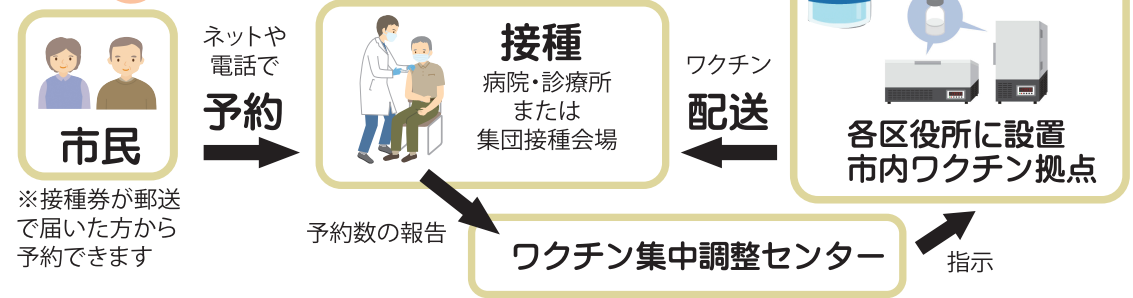
実施日時/3月14日(日) 1時間程度
依頼する医師の人数/3名

1人3分程度と想定をして、医師1名あたり高齢者20名を対象に計60名程度の参加をお願いする予定

接種の流れとワクチン供給管理

かわなみ MEMO

予約キャンセルが出たときにワクチンを無駄にしないため、しっかりとした取り扱いマニュアルが必要!と要望しました。



《神戸市の取組み》

厳密な温度管理と時間管理が必要なワクチンの管理。日時や取り扱い量など記録する文書管理を医療機関が担うと、医療機関に相当な負担が生じるのでは?という考えにより神戸市では各区役所にワクチンを管理する供給拠点を設置予定。

各種接種場所の進捗を集約をし、神戸市内にあるワクチンの状況も網羅的に把握するワクチン集中調整センターと市内の各供給拠点を連携させることで必要な接種場所に必要量を即時に配分するよう体制を整えていく予定。

かわなみ 要望

◎ワクチン接種が不安な方のために

皮下注射に慣れている身としては、腕に“ブスッ”と注射針を刺す映像を見かけると、筋肉注射はちょっと怖いかな、という方もいらっしゃると思います。副反応も心配という声も聞きます。日本や海外で得られた情報数字を出して、他の種類のワクチン接種による反応のデータと比較し、一体コロナのワクチンは相対的にどの程度・どのようリスクがあるのかを、神戸市民が考えられるデータをお示していただきたいと思います。

◎ワクチン接種に参加いただく関係者のために

ワクチン接種に関して参加して下さる医療関係者の皆様に敬意を表します。一方では、医療事故はあってはいけません。万が一、様々な事件事故があった時、個人にその責任を押し付けないように、運営のマニュアルなどをしっかり整備するなど安心して関係者が参加できるようにお願い申し上げます。





経済活動の維持・回復に向けた取り組みについて

再度の緊急事態宣言発出を受けて、私が所属する自由民主党神戸市会議員団では、経済活動の維持・回復に向けた取り組みを市長に要望をいたしました。このたびの補正予算案では、キャッシュレス決済ポイント還元キャンペーンの導入や、市独自の上乗せ支援策である家賃支援について盛り込まれており、大変評価しております。

2月18日(木)の市会本会議で、国や県が中小企業への支援策を実施している中、神戸市は現状をどのように分析し、このたび提案された独自の経済支援策を創設するに至ったのか質問いたしましたので、回答とともに制度について報告させていただきます。



かわなみ
 質問

神戸市独自の《緊急事態宣言に伴う新たな経済対策》 家賃負担軽減緊急一時金の創設

2月3日、久元市長臨時会見および、2月18日 市会本会議での久元市長、今西副市長からの回答をもとに
 わかりやすく報告します！

事業者向け
 支援策



緊急事態宣言に伴う要請・支援状況

参考：令和3年2月3日 市長臨時会見資料より

区市	新型コロナウイルス感染症 拡大防止 協力金	《対象》 特措法に基づく時短要請に協力した飲食店等	《金額》 ※令和3年2月27日 兵庫県ホームページより 1月12日～1月13日…4万円/日 1月14日～2月7日…6万円/日 2月8日～2月28日…6万円/日 3月1日～3月7日…4万円/日
国	飲食店の時短営業等の 影響により売上の減少した 中小事業者への 一時金	《対象》 ①飲食店と直接・間接の取引先 ②外出・移動の自粛により直接的な影響を受けた事業者 ※対象となる月の売上が対前年比50%以上減少していること	《金額》 60万円以内(中堅・中小法人) 30万円以内(個人事業主)

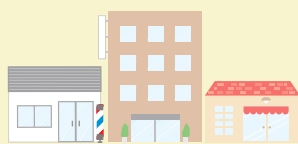
かわなみ
 MEMO

神戸市独自の支援策が補正予算に盛り込まれました！

◎協力金は業種が限定され、事業規模に関わらず一律支給である ◎時短営業対象外の事業者も経営が厳しい
 ◎事業規模に応じた支援が必要 ◎神戸市会からの独自支援の検討要望 などの要素を踏まえて
 神戸市独自の支援策が創設されました。

神戸市独自

家賃負担軽減 緊急一時金



《対象》 市内の中小企業・個人事業主であって

・飲食店の時短営業等の影響により売上の減少した
 中小事業者への **一時金**を受給する事業者

例) 食品加工・製造事業者、店舗の備品・消耗品を販売する事業者、
 清掃業者、問屋、農業者、漁業者など

・感染症拡大防止 **協力金**を受給する事業者(飲食店等)

例) 宿泊事業者、観光・遊興関連施設事業者、小売店、
 理美容店など

※売上と **協力金**の合計額が、令和3年1月～3月のいずれかの月の
 対前年比または対前々年比50%以上減少していること

《対象物件》

市内で事業のために賃借している建物
 (店舗、事務所、工場、作業場、倉庫など)

《補助金額》

家賃1か月分の1/2(最大50万円)
 ※予算額 14億円

自社は対象に当てはまるのかな?と疑問に
 思っている事業者の方のために、
 神戸市のホームページ等で
 適宜情報更新をお願いしたいと要望しました!

かわなみの 視点

前回(令和2年4月・5月分家賃の一部を不動産オーナーに支援)の神戸市独自の家賃支援制度は、非常に良かった!利用しました!役に立った!という声を聞いています。その一方で、不動産オーナーに協力してもらえなかった、制度の対象から条件が外れて支援を受けられなかった、と不満の声も聞いています。今回の家賃支援に関しては評価します。一方で、家賃を払わないで自己所有の建物で事業や商売を営んでいる事業者もいます。その様な事業者にも目を向けて検討いただきたいと思います。

市政に関するご相談は、
 河南(かわなみ)ただかず事務所まで
 お気軽にどうぞ!!

お問い合わせはホームページの
 メールフォームからどうぞ!

スマホのカメラで
 読み取って
 ください。



市政に真面目に
 全力投球!!

